

広報モニターの声

《145号（前号）誌面に対するご意見・ご感想》

○表紙は季節感のある写真の方が良かった。

○「村民の声を聴く会」は、参加人数・参加年齢層などは載せられないのか？写真もどの会場も同じような感じ。おもしろくない。

○情報量が多くて仕方ないかもしれないが、もう少し字が大きいと見やすいです。

○要望書提出は画像が掲載されていました。リアルな感じは伝わりましたが、記事の方が読みやすかった気がします。

○モニターの声のフォントが異なるのは、とても良いなと改めて思いました。

○〈募集〉若者議会は、最後のページの方が目立ってよいと思いました。

○表紙の明るい子どもたちと大人の表情が素晴らしく、どんな活動をしているのだろう。

「かま塾」にスポットを当て、3名のインタビューも的を射ていて良かったです。きらきら村の仲間たちのようなコーナー紹介は、各区の運営にも生かせると思います。

○誌面全体が横書きのため読みやすく、字の大きさ、太字を使った箇所とのバランスが良いと思います。

○「村民の声を聴く会」は、各地区の参加者数、全体の参加者数が記されていない。各地区の役員及び三役から数名が参加する施策を講じてはどうですか。

○基本条例の検証結果の評価は、あまり意味がわかりません。

○広報モニターをお受けしたことによって、初めて「議会だより」全面に目を通して頂きました。日頃、住みやすい村と感じながら生活していますが、いろいろな立場や側面から見ると、改善すべきところが多々あるのだと感じました。これから議会に関心を持って真面目に勉強させていただきます。

○議会だよりを読み始めて5年位になりますが、以前のものよりとても読みやすくなっていると本当に感じます。議員のようす、こんなことをやっているんだ…知らなかった！と感じることがたくさんあります。これからも楽しみに読みたいと思います。

○表紙と「きらきら村の仲間たち」で取り上げられた神子柴区のかま塾の紹介は、地元でスポットをあて、地域移行が進む中で地域の方々と次世代をになう子どもたちとの関わりが伝わる内容で良かったです。他地区の活動を知りたいと思いました。写真のサポーターの方々は存じ上げていますが、日々「子どもたちのために」と活動をしており頭が下がる思いです。

○議会だよりのモニターに応募してから、村のウェブサイトに掲載されている議会だよりのバックナンバーを少し拝見しました。議会だより誌面に対する意見・感想ではありませんが、議会だよりは、最新号と令和5年度までのバックナンバーがありますが、144号はどのようにしたら閲覧できるのか分かりません。お忙しいでしょうが、なるべく早く、バックナンバーには直前号まで掲載していただければと思います。

○村民の声を聴く会：生の声を取り上げられる良い機会となっている。さまざまな要望を体系的にまとめ上げ、改善に向けた次のステップに進む作業に期待。

○一般質問：各議員が良く勉強され、苦勞されていることが理解できる。一方で、難しい文言、外来語(IT用語)が散見される(例：フィルタリング、GIGA スクール等)。カッコ付きにして、誰もが理解できる日本語・単語を添える工夫を期待する。耐震化、今回は、能登地震の教訓からか耐震化の質問が多い。但し、村の耐震化の実態・実状が理解できる内容かと言うとそうは見えない。例えば、能登クラスの地震に耐えられる耐震化が、村はど

うなのか？全体像(俯瞰^{ふかんてき}的な)を含め、数値化した理解しやすい説明が必要ではないか？

(例：下水道・上水道の全体長に対し何%が耐震化されているか？どの地域に課題があるか？等)

○一般質問のなかで、防災に関係した質問に対して、かなり幅広く答弁をされていることで参考になりました。防災に関しては日頃からの心構えと同時に、防災マップ等を参考に村の取り組みに対して期待しています。これからも、必要な情報を議会だよりを通じて提供をお願いします。

《議会に対するご意見》

- 議会定例会を YouTube で見れるのがいい。視聴回数があまりに少なくてがっかり。
- 中学、部活地域移行について。保護者関係者に対しての説明不足、準備不足を感じます。
事務局の方と意思疎通が取れないという感覚がある。
- 小中学校は、もっとタブレットを活用して欲しい。
- 初めてまじめに読みました。全体的な感想ですが、個別の議員さんの意見もよいのですが、何かの議題に対しての議員さんの意見を読みたいと思いました。討論となるような事は少ないのでしょうか。
- 「村の公共施設の活用方法について」この村は全国的にみてまれに見る人口増加をたどっていますが、村の面積、施設、農地と宅地の比率等考えて、理想と考えられる人口はどうあるべきか考えた事がありますか、是非検討をお願いします。
- 「防災道の駅」「大芝高原整備」：この件についてどこの道の駅をみても主要幹線から 300m 以上も中に入った、場所のわかりづらい道の駅は基本的に計画を考え直してもらいたい、もっと多くの人の意見を聞くべきでないかと思います。
- 村道 6 号線にある「議会花壇」他の花壇の模範となるよう頑張ってもらいたいです。
- 議会の皆様、村のことを考え、住民の声を聞き、村に届けて下さりありがとうございます。そういった働きかけでこの村が育ってきているのだと思います。これからもさらに住みやすい村になりますよう、一層のご活躍に期待しています。
- 一般質問の質疑はわかりやすくまとめられていて良いと思いました。ただし、どうしても全体的には文字が多くなるため、興味がないと見ていただけないのではないかと、目を通すのには時間を要するのではないかと思います。（文字の大きさは良いと思います。これが限界ではないでしょうか）
- 議員毎のページですが、項目（課題など）が多いため、例えば、項目（課題など）別に議員の考えや村の対応が確認できたら理解しやすいですし、理解してもらえると興味もでくるのではないかと思います。紙面上の制限で難しいと思いますが、項目（課題など）の進捗が時系列でわかるとういと思います。
- 出生率 1.20 の衝撃：当村は、人口増の村、出生率が長野県一位、移住者 7 割の若い村という評判が先行しているためか、少子化対策の話・議論が議会に出てこない。しかし、少子化の主な原因は、地方から最も出生率の低い東京に女性や若者が流出する所にある。村としても、転入増に安住するのではなく、女性や若者がどの程度村に残っているかという実態を数値でしっかり把握し、それを基に村民全員が地域社会を見直し、地域のルールを良いことも悪いこともすべて抽出・明文化・整理する作業をすべき時ではないでしょうか。それに基づき、時代にあった村の、コミュニティの在り方、ルールを話し合っていく必要性を感じています。